

いしがき



令和2年度 宇城市立小野部田小学校
学校便り 第5号
文責：校長 川端 保成
ホームページ <http://es.higo.ed.jp/onoheta/>

「七月豪雨災害」の教訓

～想定外を想定した危機管理？～



これは7月7日の熊日新聞の一面です。おりしもこの日は七夕の日であり、晴れていれば夜空を眺めて、誰もが思い思いに願いを掛けていたはずですが、しかし、大雨の警報は数日前から警戒されていたにもかかわらず、甚大な被害を生じてしまいました。被災された方々や、亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げます。

命を守ることに、特に学校においては、たくさんのお子たちの命をお預かりして学校教育を行っています。東日本大震災の際にも、その大きき取り上げられましたが、先日も緊急時引き渡し訓練を実施しましたが、今後ともさまざまな場面、子どもたちの命に関わることに、たとえそれが「空振り」であろうと、命を優先して判断していきます。突然のメール等でのお願いへの、ご理解とご協力をお願いします。

いじめや差別のない学校づくり

～子どもたち自らの手で！～

去る6月23日の朝、児童会執行部のメンバーが各教室へ「心のきずなを深めよう5か条」を宣言してくれました。今年度は「助け合い、みんなの笑顔を増やそう」と決め、誰もが楽しく過ごせるよう、お互いに呼びかけていきます。



また、1階ホールには、日頃伝え切れていない「ありがとうのあじさい」が満開になっています。「...で優しくしてくれて、学校が楽しいです。」などと、一人ひとりの感謝の気持ちが込められています。子どもたちの純粋な気持ちや、学校だけでなく、家庭内や地域へも広がればいいなど、優しい気持ちになりました。この1年生が描いてくれた絵のように、みんなが笑顔で暮らせる学校を目指します。



今までで一番「短い夏休み」が始まります。

年度当初から続いた休校期間中の学習の遅れを取り戻すために、例年40日ほどの夏休みが、宇城市全小中学校で14日間に短縮して実施されます。本年は8月5日から8月18日までとなりますが、例年より短い夏休みです。だからこそ、今まで以上に計画をしっかりと立てて迎える必要があります。

ご家庭でも帰省や旅行等、長期休業中でないと出来ないことを計画されているかと思いますが、子どもたちの生活リズムや家庭学習は当然のこと、今年は健康管理の面でも「かからない、うつさない」ことを前提にして、計画していくことが必要になります。世の中では、まだまだ「収束」とはほど遠い状況にありますが、その中で休みをどう過ごすかが大切です。

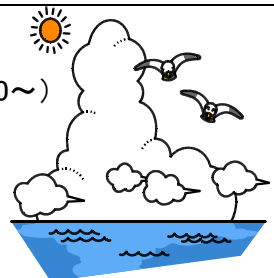
そして、2週間後にまた元気な笑顔で再開できることを楽しみにしています。



延期が決まった東京オリンピック開催1年前の7月23日、全世界に向けてメッセージが発信されました。競泳の池江璃花子選手が、自らの辛い体験を通して、「希望が遠くに輝いているからこそ、どんなにつらくとも前を向いて頑張れる」と語ってくれました。さらに「どんなに小さな努力でも、それが無駄だとは決して思わない」とも。オリンピックを目指すアスリートに勇気を与えてくれるこのメッセージは、子どもたちへのメッセージでもあると私には感じられました。と同時に、「遠くに輝く希望」を子どもたちに抱かせるのは、私たち大人の大きな責任のようにも感じられました。みなさんの心には、どう届きましたか？

8月の行事予定

- 3日 PTA役員会(18:30～)
- 4日 休み前集会
- 5日 夏休み(～18日)
- 10日 山の日
- 11日 閉庁(～14日)
- 19日 休み明け集会



有意義な夏休みとなるよう、各ご家庭でもぜひ親子で計画を立ててお過ごしください。

※ 小野部田小学校のホームページに、「日々のつぶやき」として、学校生活のとある場面や、ちょっとしたエピソードなど、随時アップさせて頂いていますので、ぜひご覧ください。